

1 概況

栄養塩は、先週と比べ西三河地区と東三河地区は回復傾向を示しましたが、知多地区は全体的に減少傾向となり、特に知多東岸地区は不足した状況です。植物プランクトンは概ね減少傾向ですが、知多東岸地区では多くみられます。漁業生産研究所地先の水温は、直近で上昇して3週間ぶりに平年値を少し超えました。気象庁の1ヶ月予報によると、向こう1カ月の気温は、高めが50%、平年並みが30%の確率とのことです。水温や潮位変動に注意し、ノリ芽の状態を観察しながら干出を与えるなど健全な種網確保を心がけてください。

2 気象・海況

<水温> 10月25日

1～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	20.4 °C
	平年差	-0.2 °C

<水温> 10月26日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	21.9 °C
	平年差	+0.3 °C

<潮位偏差> 10月25日

名古屋港	5日平均*	+1 cm
	偏差	+6 cm

※10月21日～25日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや少ない、中南部: やや多い～少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない～やや多い
西三河地区	やや多い～やや少ない(東部で多い傾向)	なし	植物プランクトンは散見
東三河地区	多い～やや多い	なし	植物プランクトンはほとんどいない

※基準(単位:  $\mu\text{g/L}$ ) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁予報より 予報期間: 10月26日～11月2日)

今後1週間	最高気温は期間を通じて高い日が多い見込みです。最低気温は、期間の後半で平年より高い日があるでしょう。
-------	--

3 養殖状況

地区	張り込み		養殖状況
	開始	出庫状況	
知多西岸地区	10月15日	28日までに概ね完了する見込み	5～20枚張りで育苗中 早い地域では23日から展開開始
知多東岸地区	10月13日	100%(20日までに完了)	12～20枚張りで育苗中(展開まだ)
西三河地区	10月19日	100%(23日までに完了)	10～20枚張りで育苗中(展開まだ)
東三河地区	10月17日	100%(19日までに完了)	5枚張りに展開して育苗中

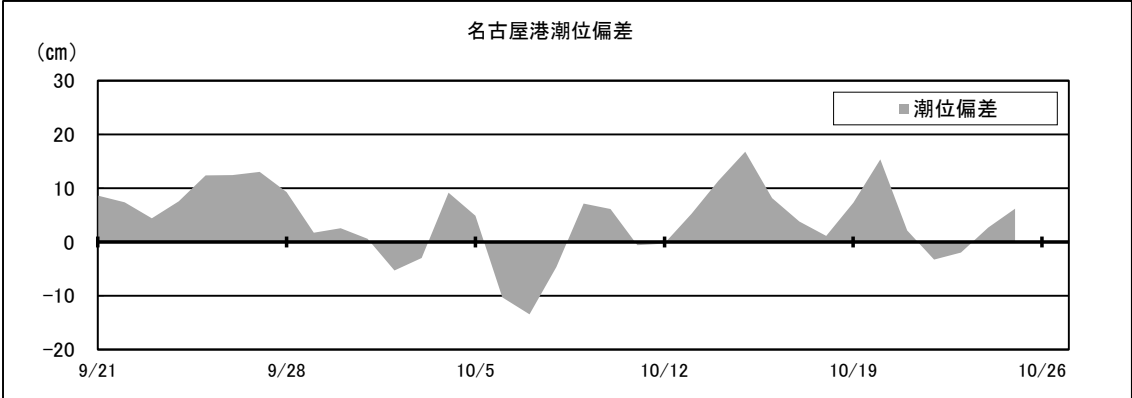
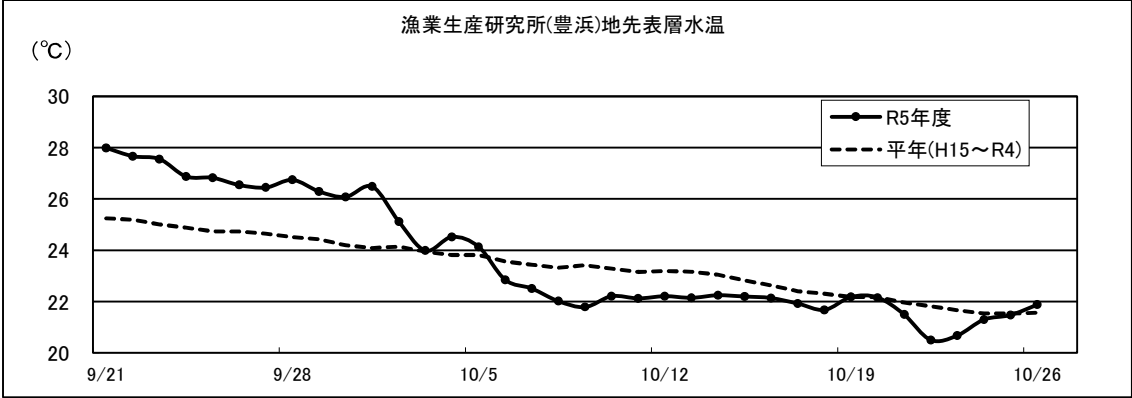
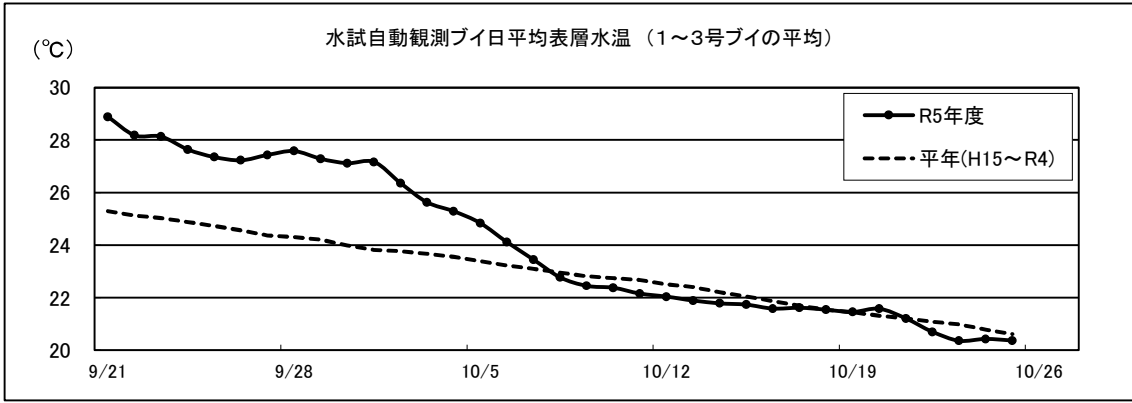
4 今後の管理

- ① 水温やプランクトンの動向に注意し、ノリ芽の状態をよく観察して、適切な網管理を行うこと。
- ② 潮位の変動や気象海況に注意し、適正な干出を行うこと。また、干出は気温が上がる前の早朝に行うこと。
- ③ ノリ芽が目視された網は早期展開を行うこと。また、網洗いを励行して二次芽の付着を促進すること。

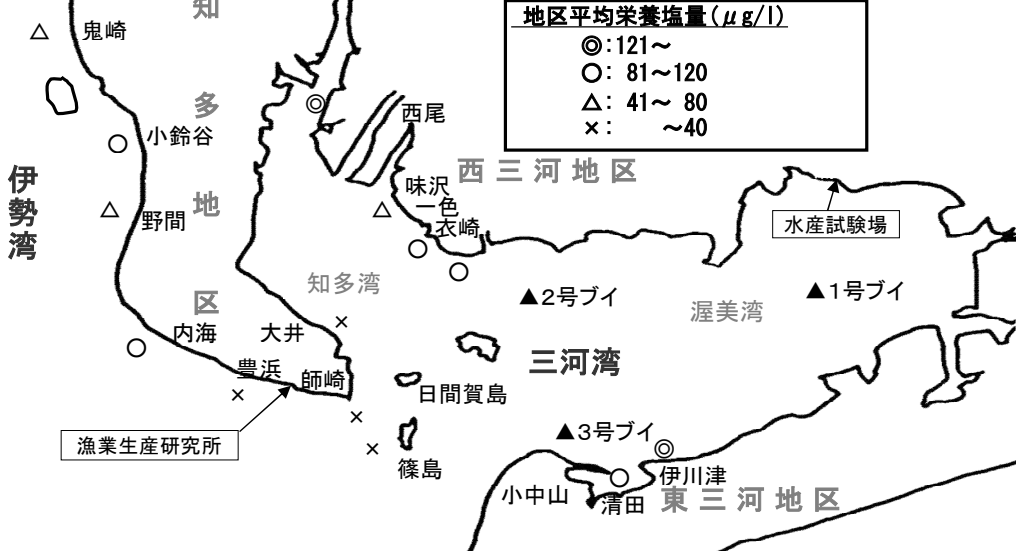
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ  
次回は11月2日(木)発行予定です。

# 伊勢湾・三河湾海況データ



## 栄養塩調査結果



栄養塩調査日：知多、西三河：10月26日（木）、東三河：10月25日（水）  
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会